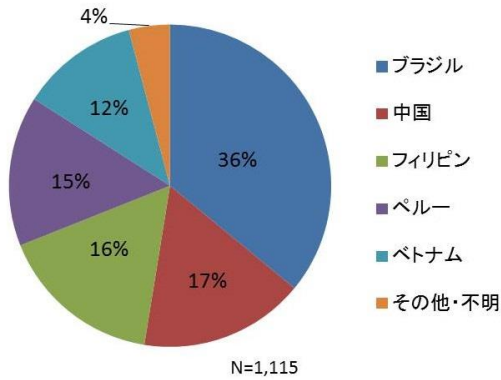


() 内は前回調査の数値

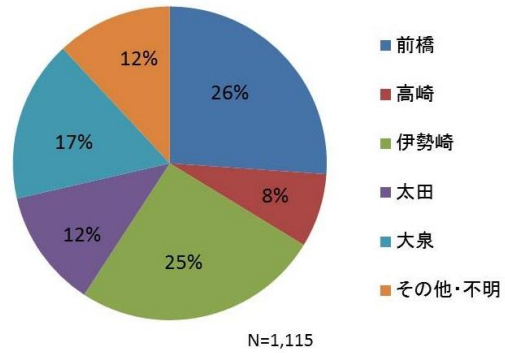
1 外国人調査

■回答者の属性

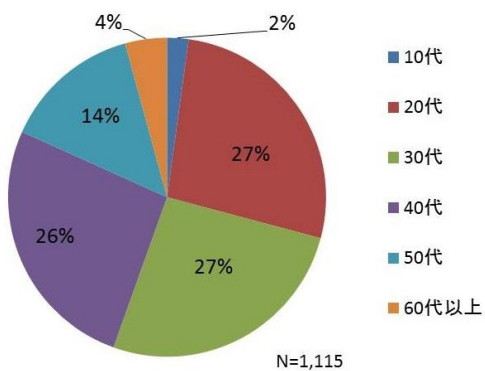
① 国籍



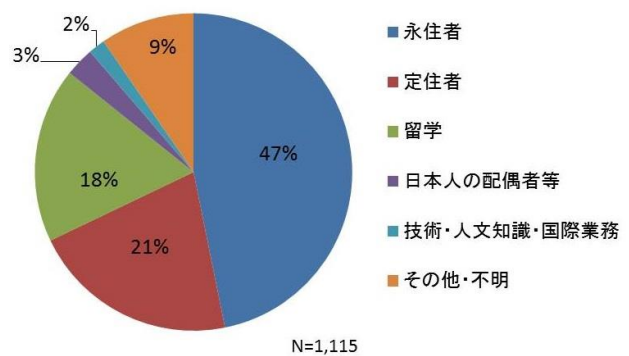
② 在住市町



③ 年齢構成



④ 在留資格



(1) 日本での定住 ～ 約6割が「今後も日本に住みたい」～

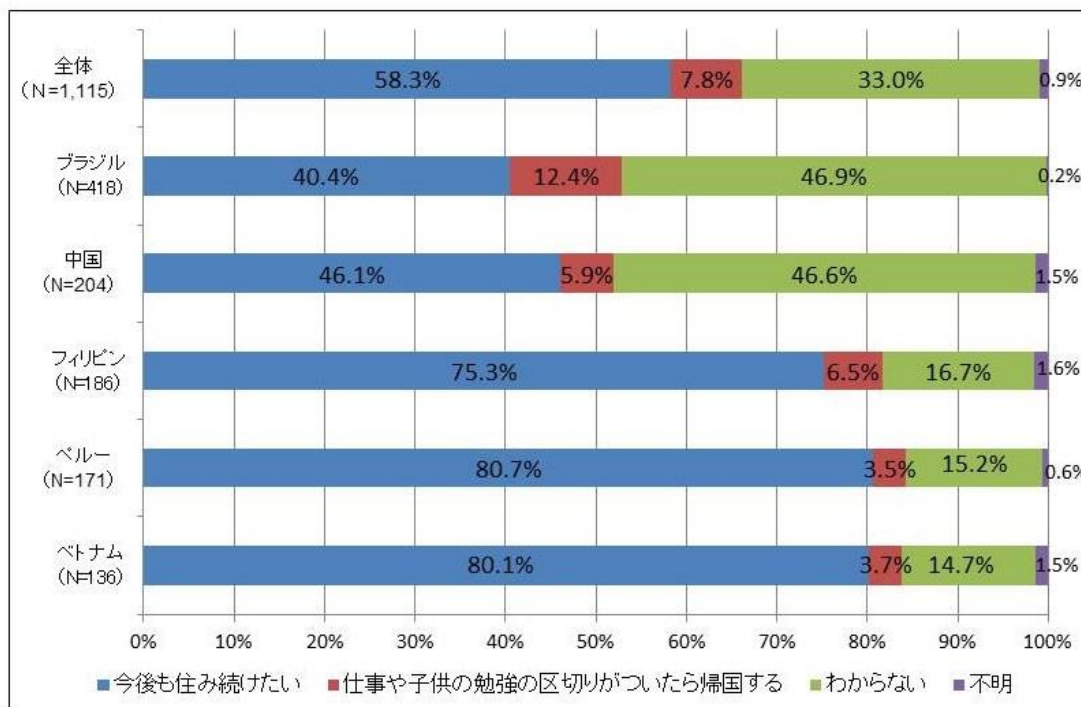
「今後も日本に住みたいですか」という設問への回答は、

- ・「今後も住みたい」 58.3% (69.0%)
- ・「仕事や子供の勉強の区切りがいたら帰国する」 7.8% (6.4%)
- ・「わからない」 33.0% (24.7%)

となっている。

景気の低迷や東日本大震災等の影響はあるものの、約6割が定住の意識を持っている。

① 今後も日本に住み続けたいですか(国籍別)。



(2) 日本人との交流 ～ 積極的な交流意識は、依然として高い ～

日本人との交流については、

- ・「積極的に交流したい」 67.0% (72.0%)
- ・「必要最低限の交流でよい」 26.3% (21.7%)
- ・「交流しなくてもよい」 3.9% (1.0%)

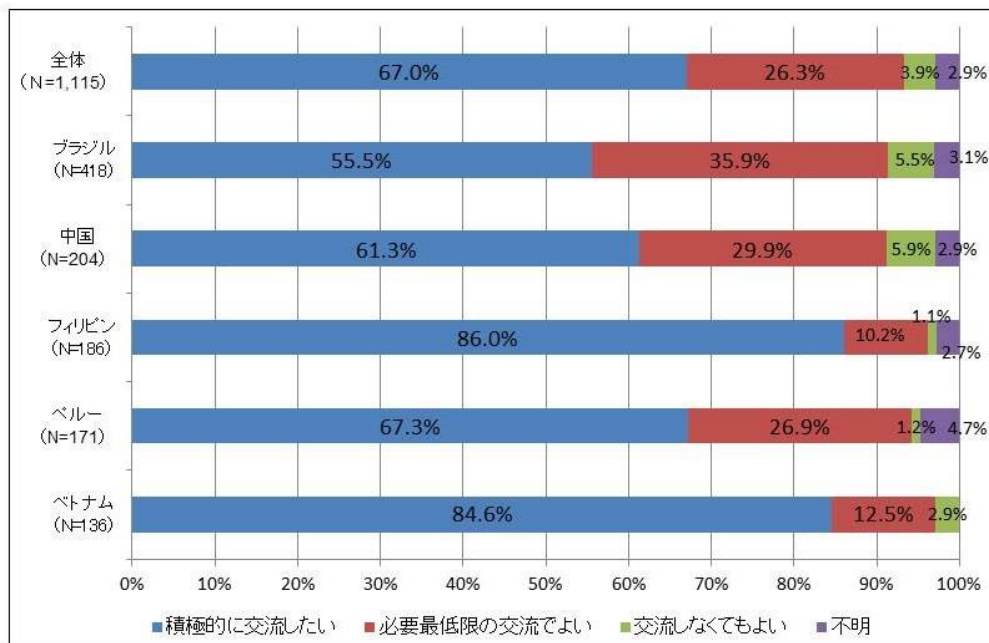
となっており、前回調査と比較するとやや低下しているものの、日本人との交流意識は高い。

また、交流したい理由は、

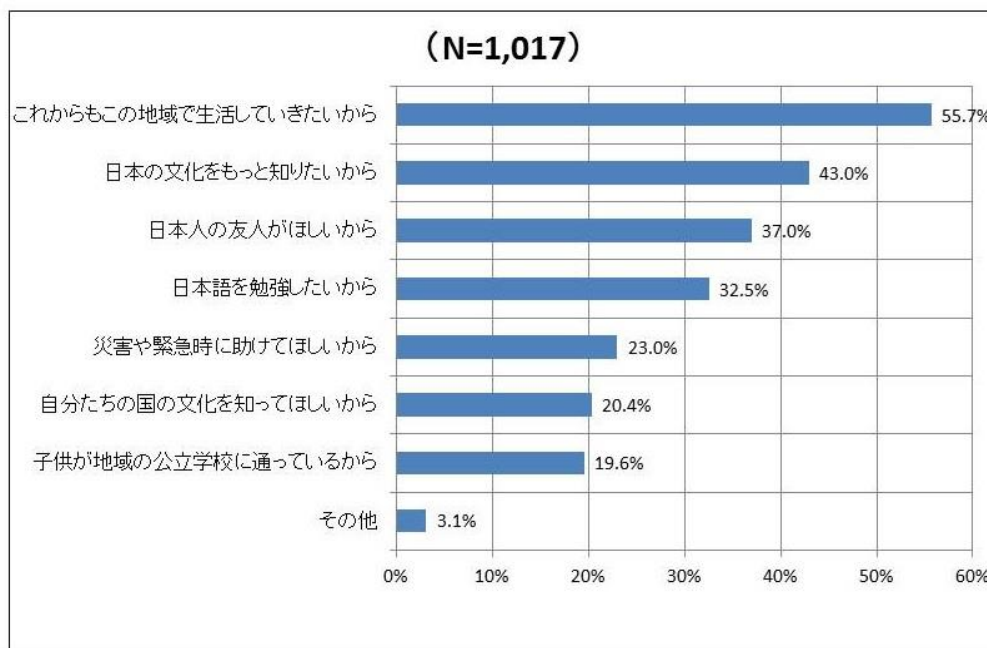
- ・「これからもこの地域で生活していきたいから」 55.7% (69.9%)
- ・「日本の文化をもっと知りたいから」 43.0% (55.9%)
- ・「日本人の友人がほしいから」 37.0% (52.8%)

等となっており、割合はいずれも減少してはいるものの、前回調査の順番と同様であるため、交流したい理由の傾向は同様であるといえる。

② 日本人との交流についてどう思いますか(国籍別)。



③ 「積極的に交流したい」・「必要最低限の交流でよい」を選んだ理由(全体)



(3) 情報の入手方法 ～ 高い「友人・知人の口コミ」の割合 ～ (複数回答)

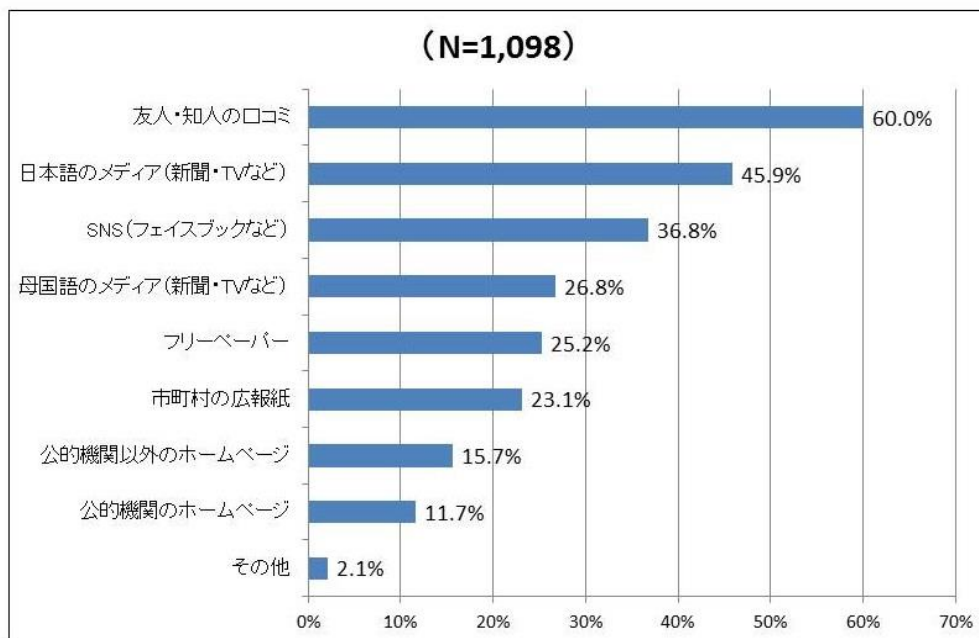
必要な情報の入手方法については、「友人・知人の口コミ」の割合が60.0%で最も高く、次いで「日本語のメディア(新聞・TVなど)」45.9%、「SNS(フェイスブックなど)」36.8%などが続いている。「友人・知人の口コミ」は、前回調査の64.9%に引き続き高い割合となった。

また、「友人・知人の口コミ」の割合は、設問「災害がおきたときに情報をどのように手に入れますか」でも47.2%で2位となっているため、平時・災害時を問わず外国人住民が

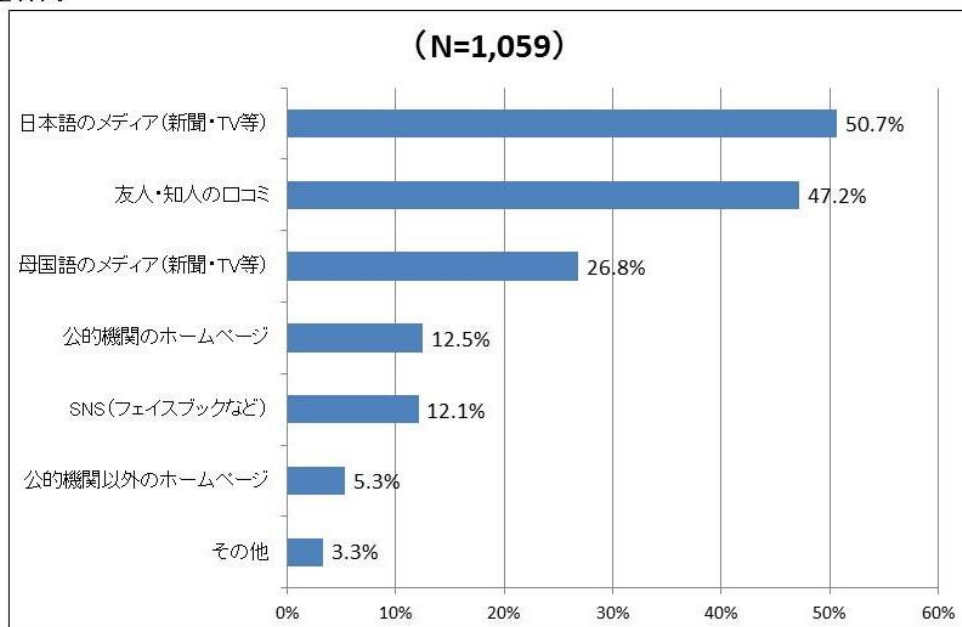
正確な情報を入手できるか否かが課題である。

「SNS（フェイスブックなど）」の割合は、平時においては「公的機関のホームページ」の3倍以上であった。外国人住民への情報提供のツールとして、SNSの活用も有効であると考えられる。

④ 必要な情報をどのように手に入れていますか(全体)。



⑤ 災害がおきたときに情報(水や食料がもらえる場所など)をどのように手に入れますか(全体)。

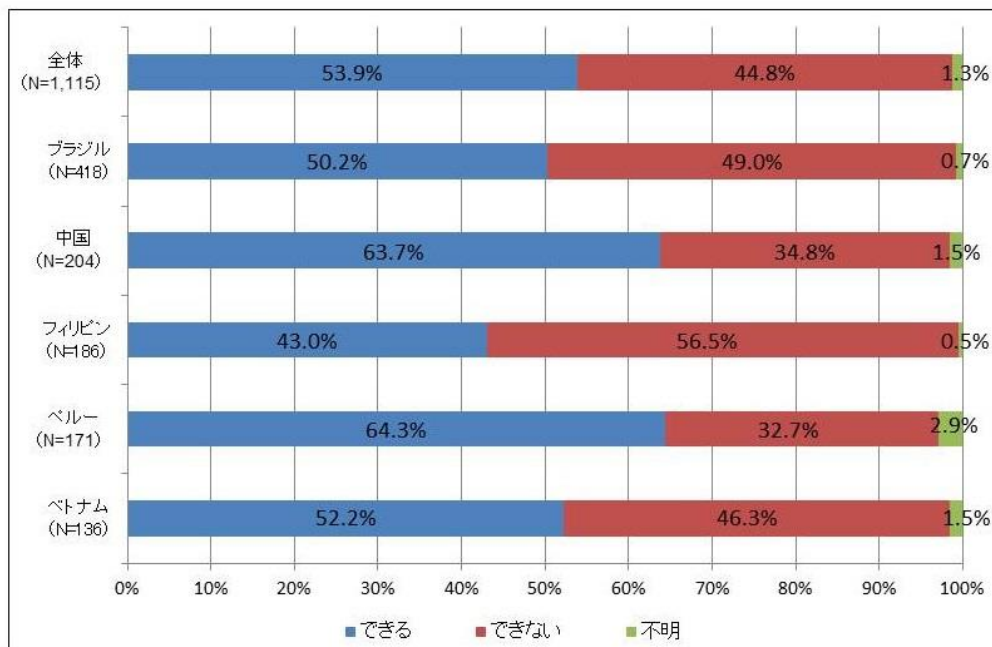


(4) 医療機関での受診 ～ 病院でのコミュニケーションは困難 ～

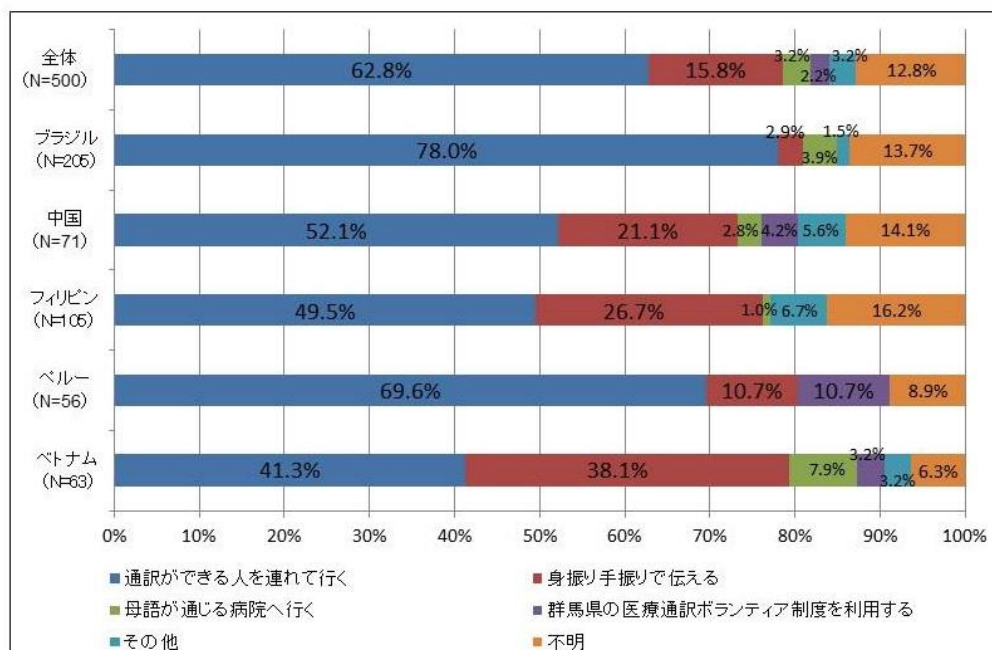
医師や病院の職員とコミュニケーションをとることができるか尋ねたところ、「できる」の割合は53.9%にとどまり、「できない」の割合は44.8%であった。「できない」と回答した人のうち、「身振り手振りで伝える」人も15.8%おり、自らの症状を伝えたり、医師等の説明を理解できるのかが懸念される。

また、ブラジル人やペルー人のコミュニティの中では、医療通訳に一定のニーズがわか
がわれる一方、「県の医療通訳ボランティア制度を利用する」と回答した人の割合は全体で
2.2%にとどまっているため、引き続き制度の周知に努める必要がある。

⑥ 日本語で自分の症状を伝えるなど、医師や病院の職員とコミュニケーションを
取ることができますか(国籍別)。



⑦ どのように症状などを伝えていきますか(国籍別)。[⑥で「できない」を選んだ
場合]



(5) 一番困っていることは ～ 「日本語が分からない」 ～
 ～ 困っていることはない人も多い ～

「あなたが今、一番困っていることは何ですか」という設問への回答は、

- ・「日本語が分からない」 17.5%
- ・「困っていることはない」 15.4%
- ・「日本人社会に受け入れられていない」 14.7%
- ・「失業、または経済的に苦しい」 10.7%
- ・「外国人であるため悪口を言われたり、差別を受けている」 9.8%

などとなっている。

言葉の問題を抱えている外国人住民が多い一方で、日本での生活に適応していて「困っていることはない」と感じている外国人住民も多い。

また、「日本人社会に受け入れられていない」「外国人であるため悪口を言われたり、差別を受けている」など、疎外感を感じている外国人住民も多いことが分かる結果となった。

⑧ あなたが今、一番困っていることは何ですか(全体)。

